

知多北部広域連合 健康とくらしの調査報告書 結果概要

令和5年5月

健康とくらしの調査実施概要

1 調査の目的

知多北部広域連合の介護保険事業計画（計画期間：令和6年度～令和8年度）を策定する上での基礎資料とするため、高齢者の生活実態や高齢者福祉サービスの利用状況、今後の意向等を把握することを目的にアンケート調査を実施しました。

2 調査対象

知多北部広域連合管内にお住まいの、要介護認定を受けていない65歳以上である高齢者から無作為抽出（要支援認定を含む）
（東海市、大府市、知多市、東浦町）

3 調査方法

郵送により実施（自記式）

4 調査期間

発送：令和4年11月14日（月）～令和4年12月5日（月）までの期間

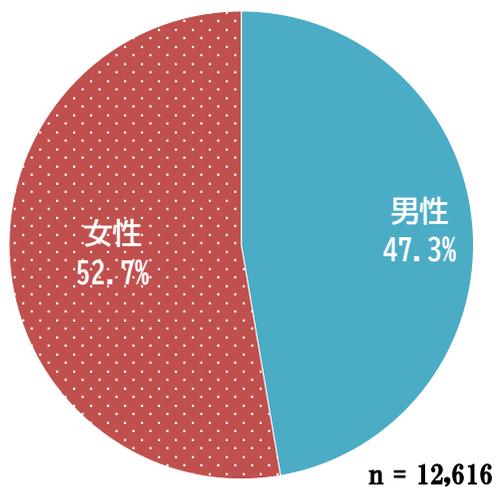
5 回収結果

	配布数	回収数	回収率	有効回答数
東海市	5,831	3,967	68.0%	3,931
大府市	4,420	3,244	73.4%	3,229
知多市	5,446	3,525	64.7%	3,487
東浦町	2,803	1,986	70.9%	1,969
知多北部広域連合	18,500	12,722	68.8%	12,616

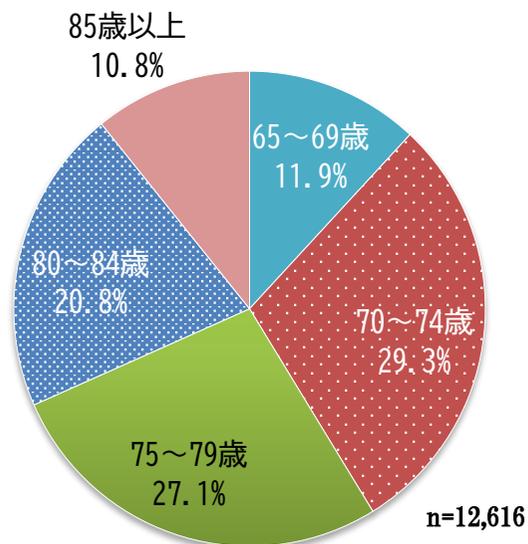
回答者の個人属性 (性別・年代別・自治体別)

知多北部広域連合全体

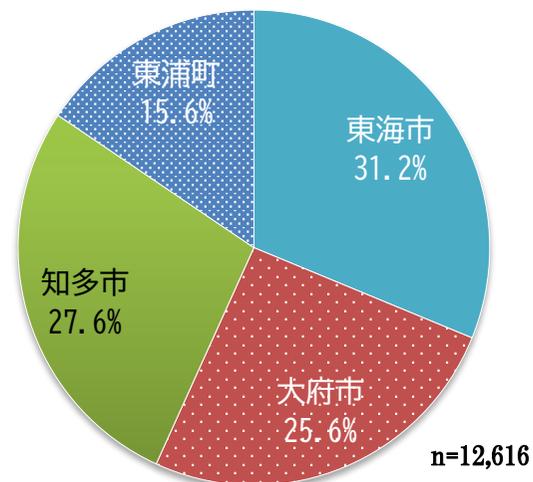
性別



年代別



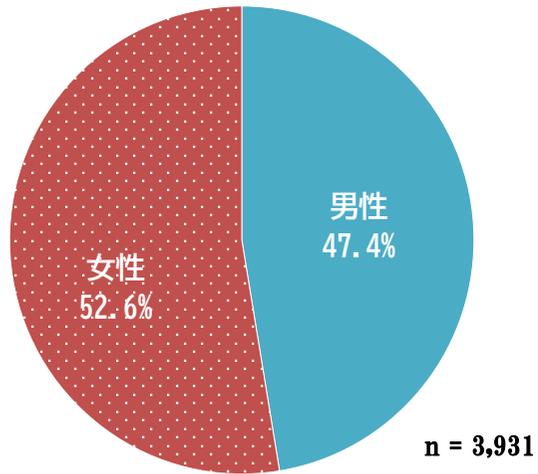
自治体別



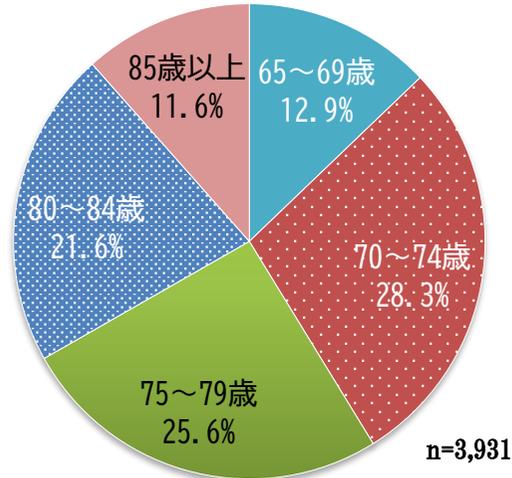
回答者の個人属性 (性別・年代別・圏域別)

東海市

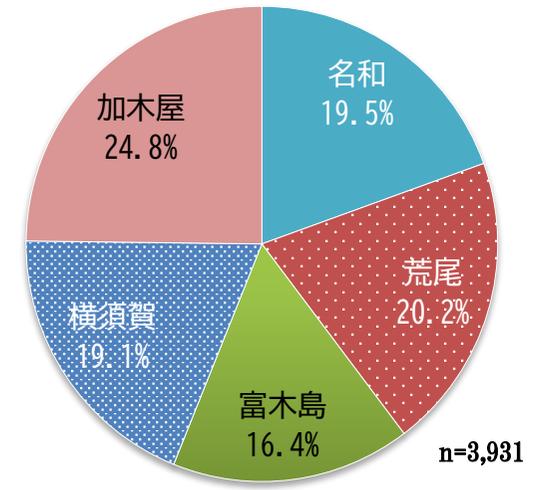
性別



年代別



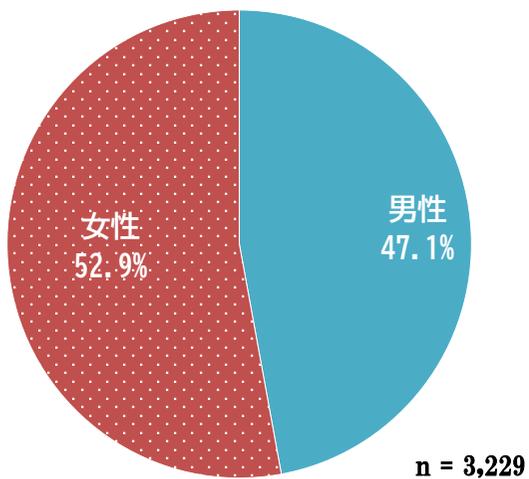
圏域別



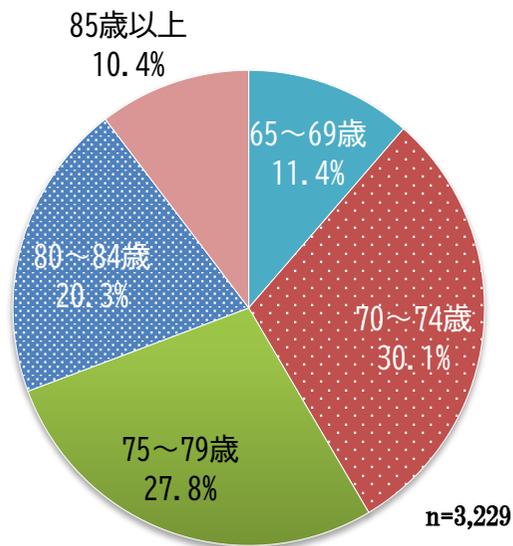
回答者の個人属性 (性別・年代別・圏域別)

大府市

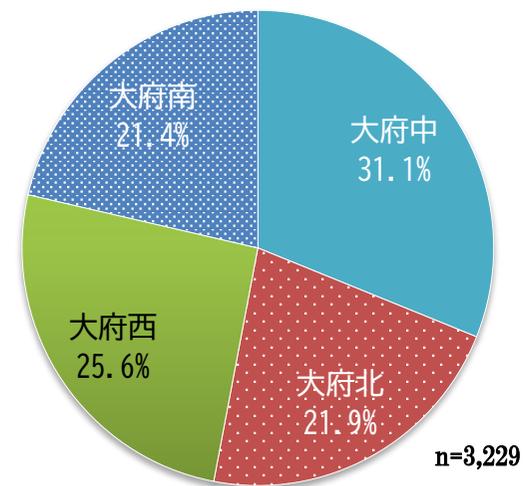
性別



年代別



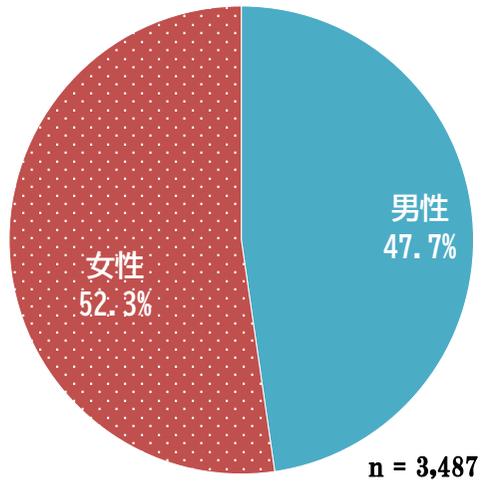
圏域別



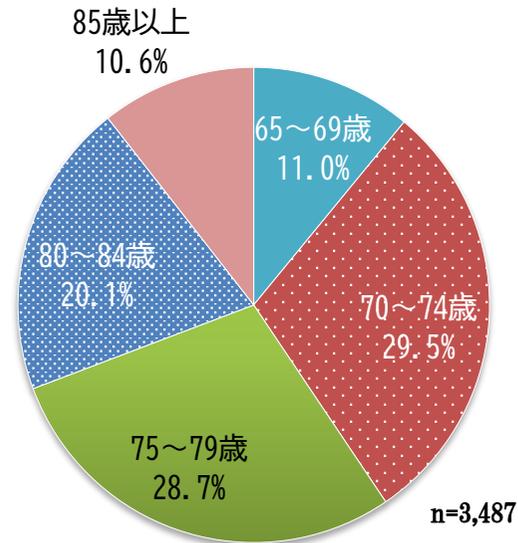
回答者の個人属性 (性別・年代別・圏域別)

知多市

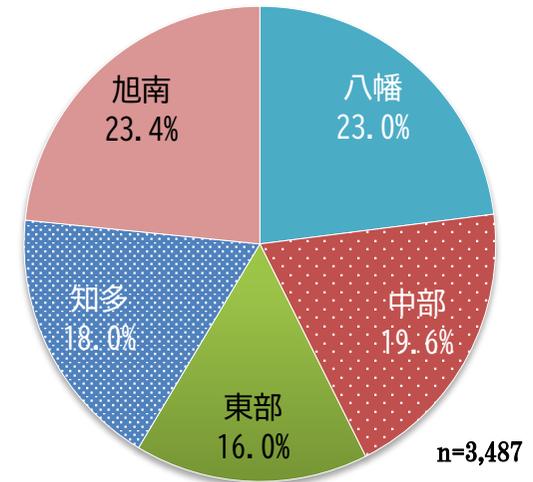
性別



年代別



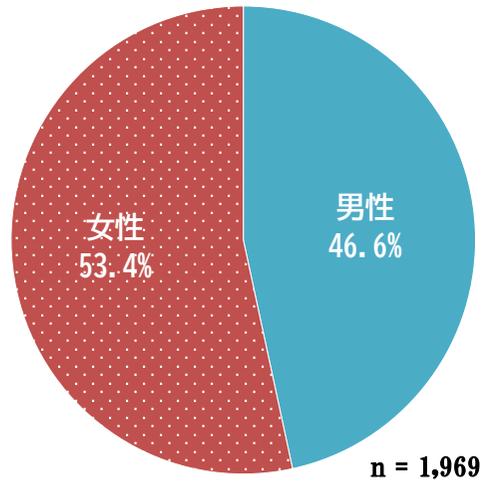
圏域別



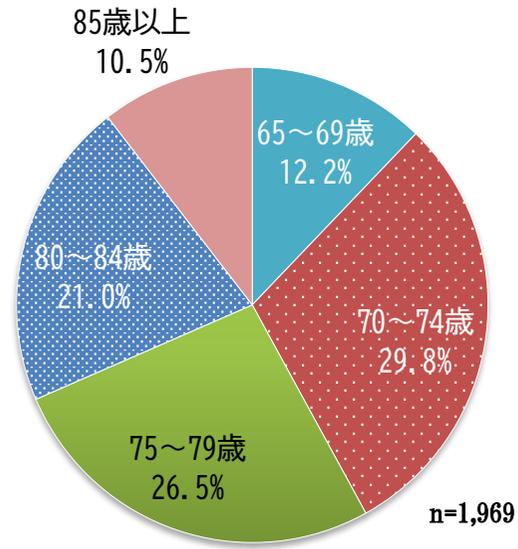
回答者の個人属性 (性別・年代別・圏域別)

東浦町

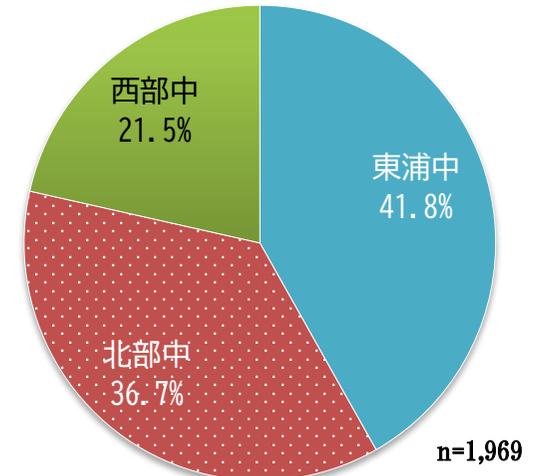
性別



年代別

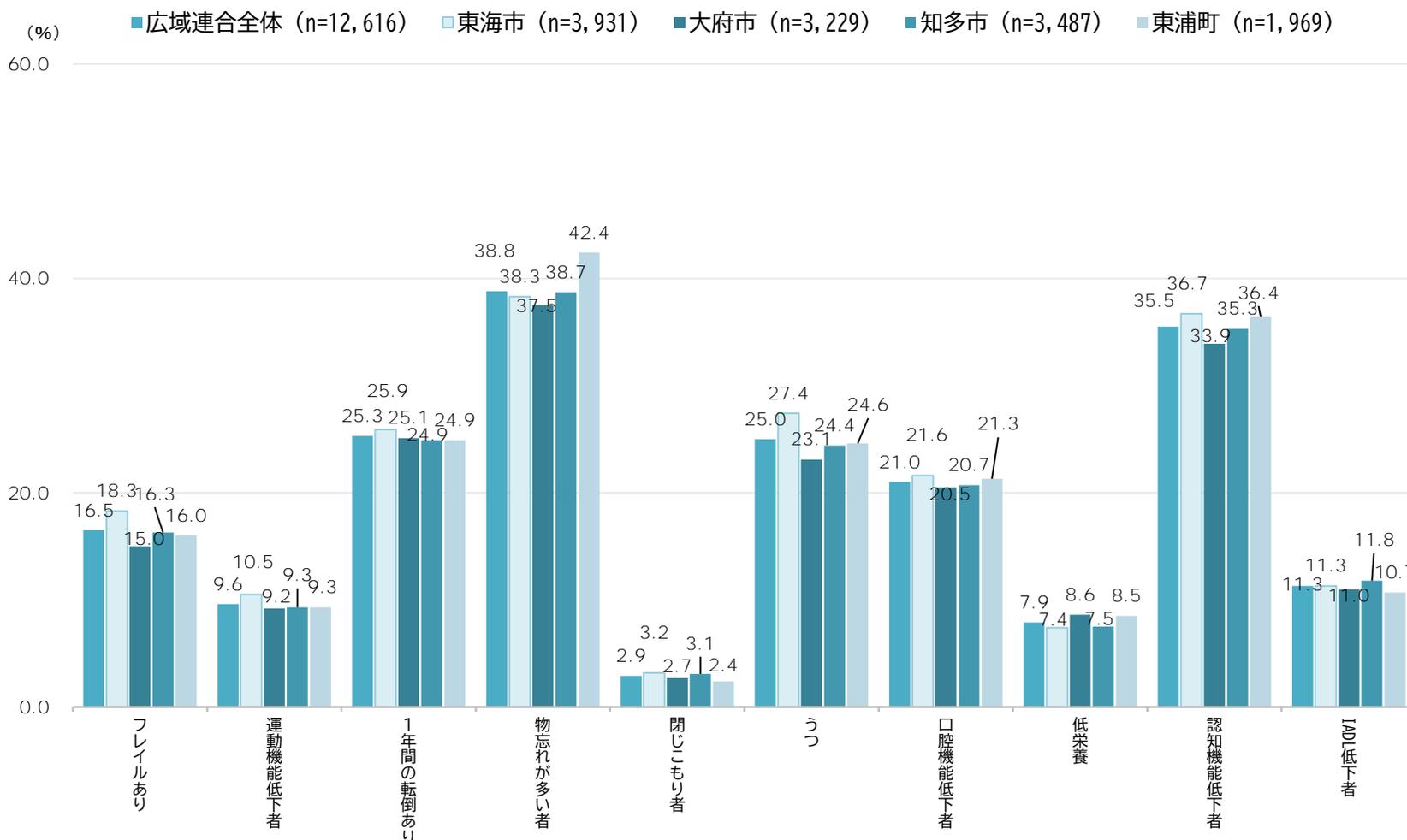


圏域別



要介護リスクの状況

全体・自治体別



□ 要介護リスクの状況は、知多北部広域連合全体では、「物忘れが多い者」が38.8%、「認知機能低下者」が35.5%、「1年間の転倒あり」が25.3%、「うつ」が25.0%、「口腔機能低下者」が21.0%、「フレイルあり」が16.5%、「IADL低下者」が11.3%、「運動機能低下者」が9.6%、「低栄養」が7.9%、「閉じこもり者」が2.9%の順となっている。

□ 前回の調査と比較してみると、「フレイルあり」の割合は、第8期の指標から、3.7%減少している。

□ 東海市では、「フレイルあり」「運動機能低下者」「1年間の転倒あり」「閉じこもり者」「うつ」「口腔機能低下者」「認知機能低下者」の割合が広域連合全体よりも高くなっている。

□ 大府市では、「低栄養」の割合が広域連合全体よりも高くなっている。

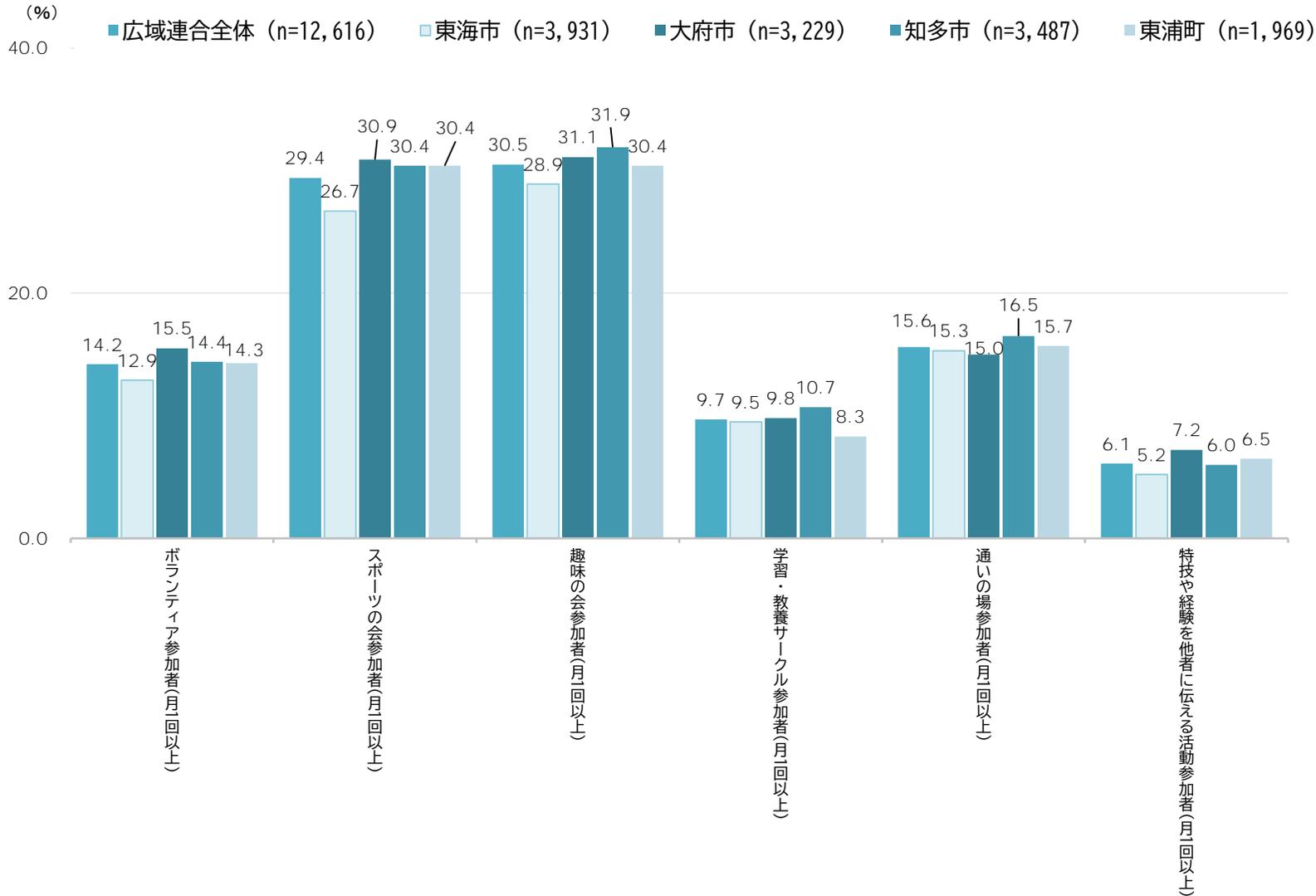
□ 知多市では、「閉じこもり者」「IADL低下者」の割合が広域連合全体よりも高くなっている。

□ 東浦町では、「物忘れが多い者」「口腔機能低下者」「低栄養」「認知機能低下者」の割合が広域連合全体よりも高くなっている。

社会参加の状況

(比較:計画書P44 通いの場参加者(月1回以上))

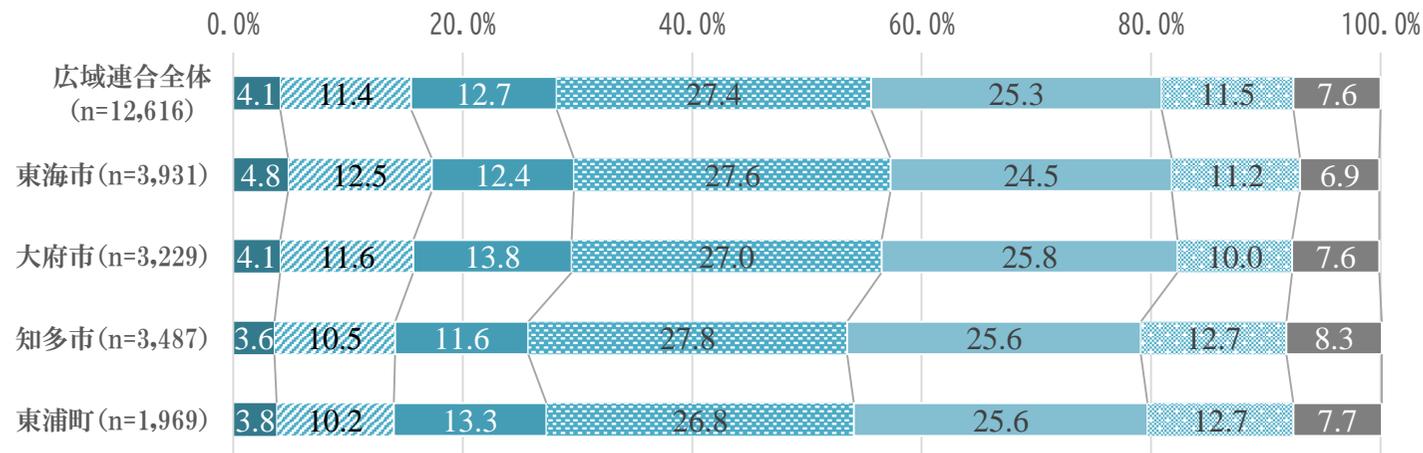
全体・自治体別



- 社会参加の状況は、知多北部広域連合全体では、「趣味の会参加者」が30.5%、「スポーツの会参加者」が29.4%、「通いの場参加者」が15.6%、「ボランティア参加者」が14.2%、「学習・教育サークル参加者」が9.7%、「特技や経験を他者に伝える活動参加者」が6.1%の順となっている。
- 計画書の指標との比較では、「通いの場参加者」の割合は、第8期の指標から、0.1%増加している。
- 東海市では、すべての項目の割合が広域連合全体よりも低くなっている。
- 大府市では、「ボランティア参加者」「スポーツの会参加者」「趣味の会参加者」「学習・教養サークル参加者」「特技や経験を他者に伝える活動参加者」の割合が広域連合全体よりも高くなっている。
- 知多市では、「ボランティア参加者」「スポーツの会参加者」「趣味の会参加者」「学習・教養サークル参加者」「通いの場参加者」の割合が広域連合全体よりも高くなっている。
- 東浦町では、「ボランティア参加者」「スポーツの会参加者」「通いの場参加者」「特技や経験を他者に伝える活動参加者」の割合が広域連合全体よりも高くなっている。

よく利用する商店などについて [コンビニエンスストア]

利用頻度



■ 週4回以上 ▨ 週2~3回 ■ 週1回 ▩ 月1~3回 ■ 年に数回 ▨ 利用していない ■ 無回答

移動手段

(件)	件数 (人)	徒歩	自転車	車 (自分で運転)	車での送迎	バス	電車
広域連合全体	12,616	34.7	8.3	46.1	5.8	1.0	0.6
東海市	3,931	40.9	9.2	40.4	5.7	1.5	0.7
大府市	3,229	37.2	8.8	45.9	5.2	0.6	0.4
知多市	3,487	31.1	7.3	48.4	5.9	0.7	0.7
東浦町	1,969	24.5	7.6	54.0	6.7	1.3	0.6

□ コンビニエンスストアの利用頻度は、知多北部広域連合全体では、「月1~3回」が27.4%、「年に数回」が25.3%、「週1回」が12.7%、「利用していない」が11.5%、「週2~3回」が11.4%、「週4回以上」が4.1%の順となっている。

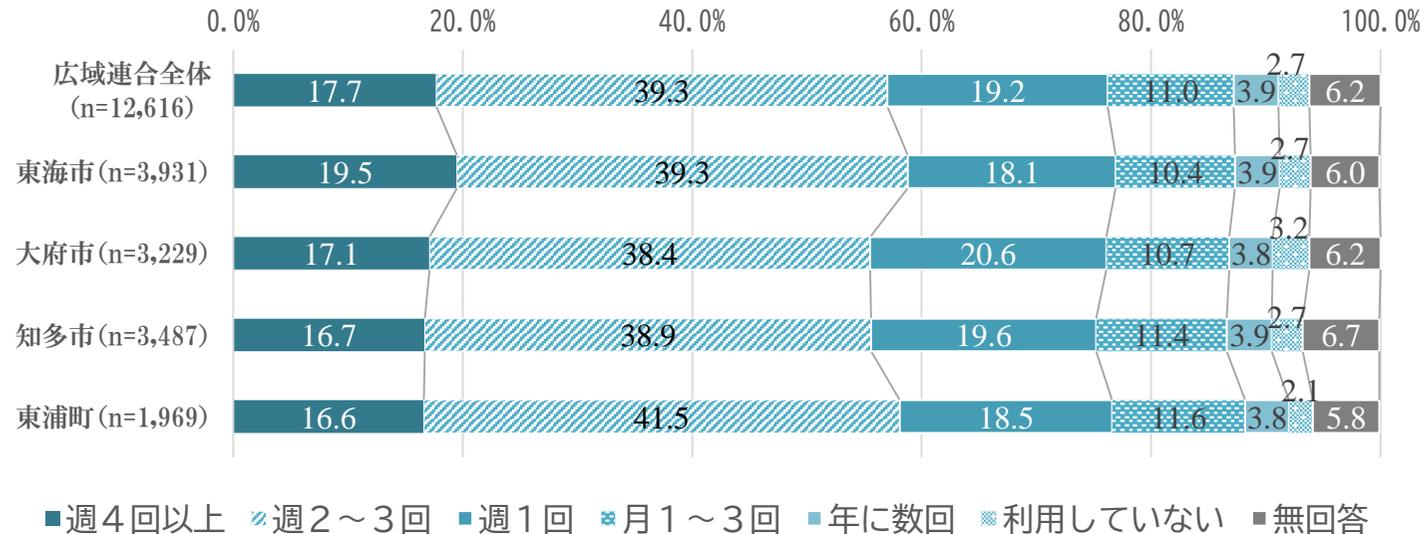
□ 自治体間で大きな差はみられないが、「月1~3回」と「年に数回」の利用頻度が多くなっている。

□ 移動手段は、知多北部広域連合全体では、「車(自分で運転)」(46.1%)、「徒歩」(34.7%)、「自転車」(8.3%)の順で多くなっている。

□ 自治体間で比較してみると、東海市では「徒歩」が多く、大府市、知多市、東浦町では「車(自分で運転)」が多くなっている。

よく利用する商店などについて [スーパー]

利用頻度



□ スーパーの利用頻度は、知多北部広域連合全体では、「週2~3回」が39.3%、「週1回」が19.2%、「週4回以上」が17.7%、「月1~3回」が11.0%、「年に数回」が3.9%の順となっている。なお、「利用していない」は2.7%となっている。

□ 自治体間で大きな差はみられず、どの自治体も週2~3回以上が5割を超えている。

□ 移動手段は、知多北部広域連合全体では、「車（自分で運転）」（59.4%）、「徒歩」（18.4%）、「車での送迎」（13.4%）の順で多くなっている。

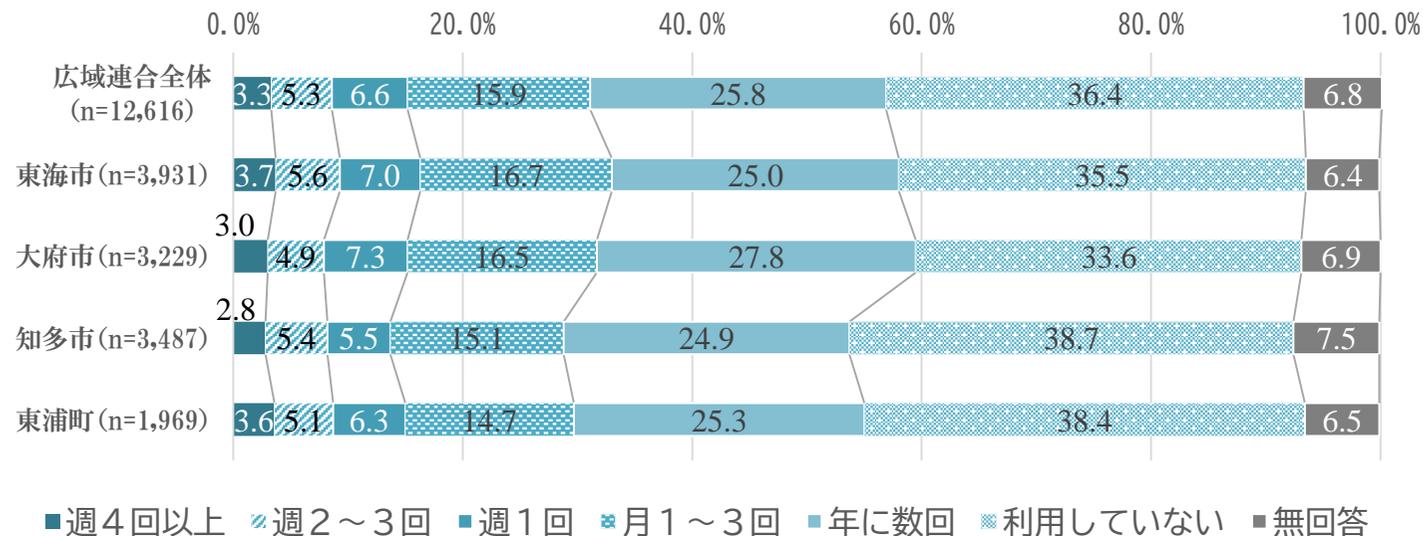
□ 各自治体ともに「車（自分で運転）」が5割を超えている。東海市では「徒歩」の割合が他の自治体より最も多く、「車（自分で運転）」が最も少なくなっている。

移動手段

(件)	件数(人)	徒歩	自転車	車(自分で運転)	車での送迎	バス	電車
広域連合全体	12,616	18.4	9.6	59.4	13.4	2.0	0.5
東海市	3,931	21.1	10.6	56.0	13.9	2.8	0.6
大府市	3,229	16.1	10.2	60.3	13.2	1.7	0.3
知多市	3,487	17.2	8.3	61.0	14.0	1.4	0.6
東浦町	1,969	19.2	9.1	62.0	11.8	2.1	0.6

よく利用する商店などについて [喫茶店]

利用頻度



□ 喫茶店の利用頻度は、知多北部広域連合全体では、「年に数回」が 25.8%、「月1~3回」が 15.9%、「週1回」が 6.6%、「週2~3回」が 5.3%、「週4回以上」が 3.3%の順となっている。なお、「利用していない」は 36.4%となっている。

□ 各自治体ともに、週1回以上の利用は1割半ば、月1~3回以上の利用は3割前後となっている。一方、「利用していない」は各自治体とも3割を超えており、知多市と東浦町では4割弱となっている。

□ 移動手段は、知多北部広域連合全体では、「車(自分で運転)」(37.9%)、「徒歩」(10.8%)、「車での送迎」(10.1%)の順で多くなっている。

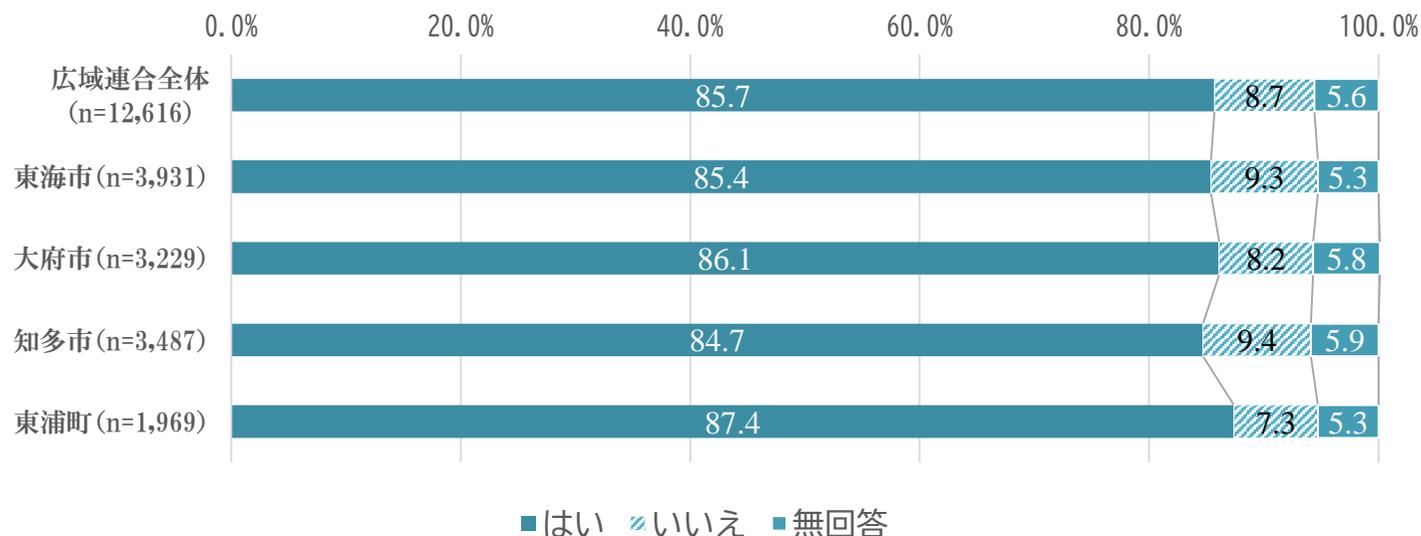
□ 各自治体ともに「車(自分で運転)」が最も多い。東海市では、「徒歩」の割合が他の自治体より最も多く、「車(自分で運転)」が最も少なくなっている。

移動手段

(件)	件数(人)	徒歩	自転車	車(自分で運転)	車での送迎	バス	電車
広域連合全体	12,616	10.8	3.5	37.9	10.1	0.8	1.1
東海市	3,931	13.6	3.9	35.5	10.9	1.2	1.2
大府市	3,229	11.1	3.9	40.0	9.6	0.7	1.2
知多市	3,487	8.6	2.8	37.9	10.4	0.4	0.8
東浦町	1,969	8.8	3.0	39.5	8.7	1.0	1.1

かかりつけ医について

かかりつけ医の有無



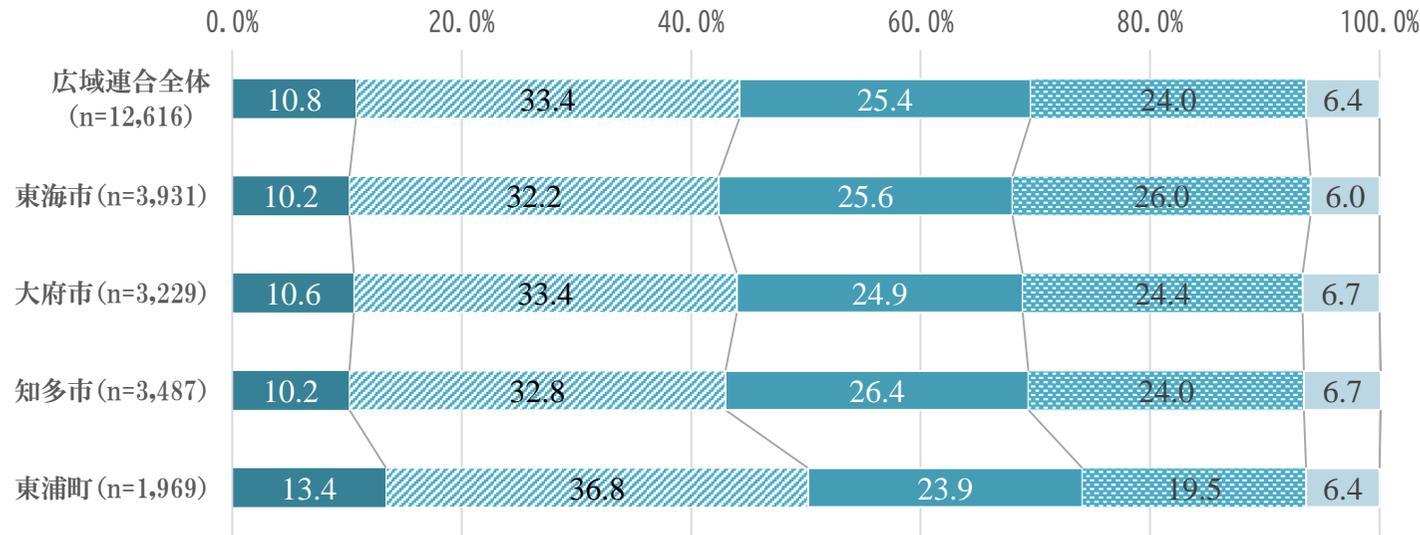
- かかりつけ医の有無は、知多北部広域連合全体では、「はい」が85.7%、「いいえ」が8.7%の順となっている。
- 自治体間で大きな差はみられない。
- かかりつけ医の所属する医療機関は、知多北部広域連合全体では、「開業医」が83.1%で最も多く、次いで「総合病院」が21.1%、「大学病院」が2.6%の順となっている。
- 各自治体ともに開業医が約8割以上である。知多市では、他の自治体に比べ、「開業医」が最も高く、「総合病院」が最も少なくなっている。

医療機関

(件)	件数 (人)	大学病院	総合病院	開業医	その他
広域連合全体	10,812	2.6	21.1	83.1	2.2
東海市	3,358	1.9	23.6	79.7	3.4
大府市	2,779	4.1	22.9	81.5	1.5
知多市	2,955	2.3	16.5	87.6	1.7
東浦町	1,720	1.9	21.3	84.5	1.7

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度について （比較：計画書P46）

高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度



- 利用したことがある
- ▨ 何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない
- 名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない
- ▨ 全く知らない
- 無回答

□ 高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）の認知度は、知多北部広域連合全体では、「何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない」が33.4%、「名前は知っているが、何をしているのか（役割）は知らない」が25.4%、「全く知らない」が24.0%、「利用したことがある」が10.8%の順となっている。

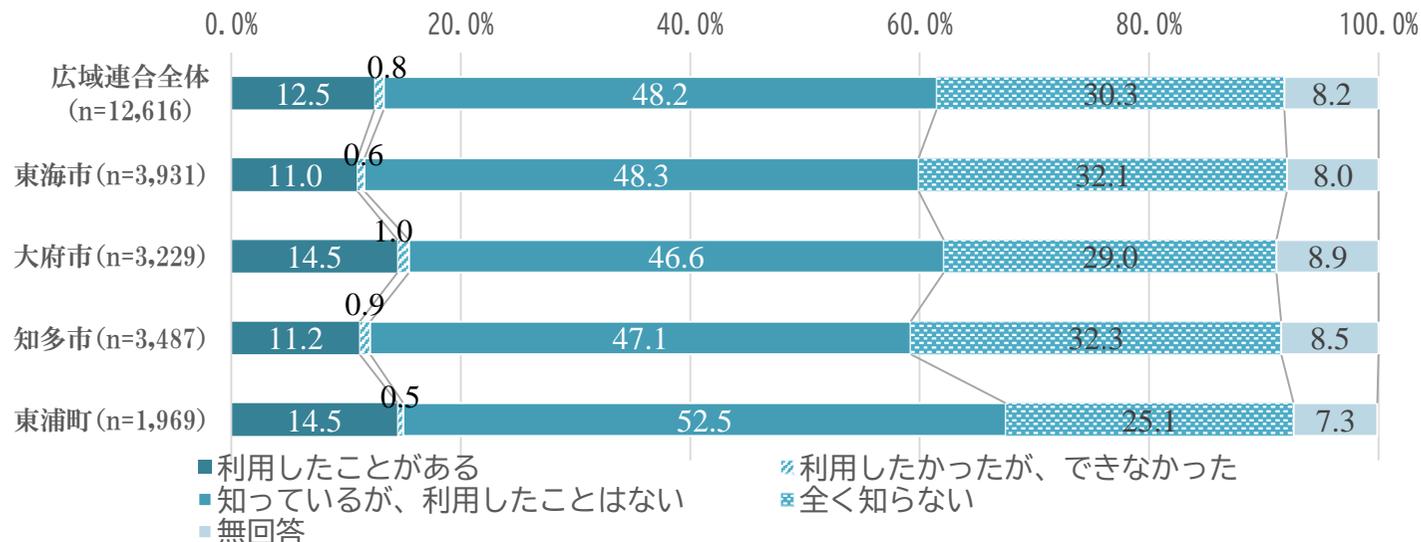
□ 計画書の数値（令和元年）と比較してみると、「全く知らない」は、1.2%減少しており、「利用したことがある」は0.1%減少している。「何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない」は0.5%増加している。

□ 各自治体ともに、「利用したことがある」「何をする所か（役割）知っているが、利用したことはない」を合わせると、4割を超えており、特に東浦町では5割を超えている。一方、「全く知らない」は東浦町では最も少なく、2割を切っている。

□ 各自治体を比較してみると、認知度は高くなり、「全く知らない」は減っている。

介護予防事業について

認知度・利用経験



□ 介護予防事業の認知度・利用経験は、知多北部広域連合全体では、「知っているが、利用したことはない」が 48.2%、「全く知らない」が30.3%、「利用したことがある」が 12.5%、「利用したかったが、できなかった」が 0.8%の順となっている。

□ 各自治体ともに「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」を合わせると5~6割となっており、「利用したことがある」は大府市と東浦町が最も多く、「全く知らない」は東浦町で最も低くなっている。

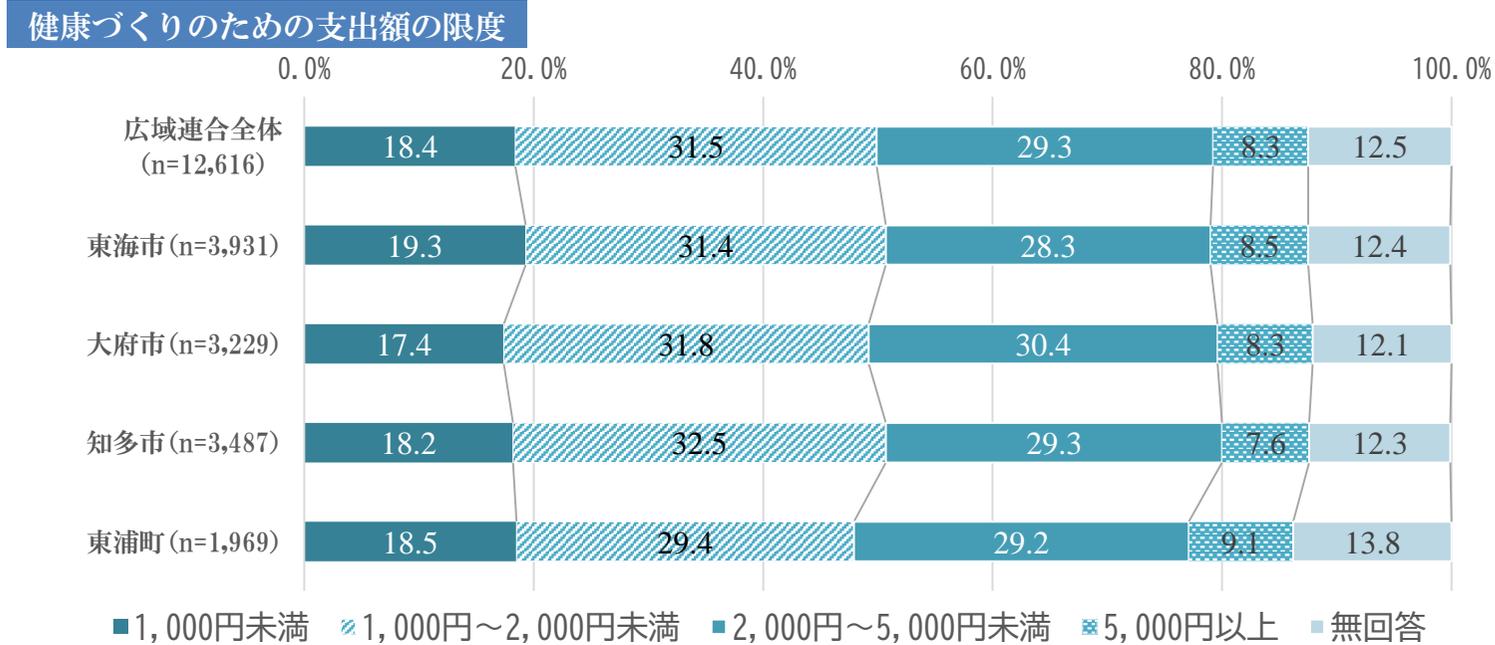
利用したいと思う介護予防事業

(件)	件数 (人)	内容が面白ければ	効果があることがわかれば	時間が合えば	家から近ければ	知り合いが一緒なら	移動手段(送迎)があれば	人と交流することがなれば	取り組んで健康づくりに必要ない	健康づくりはしていないが、自分はまだ元気なので必要ない	どのようなものであっても利用したくない	その他
広域連合全体	9,999	20.5	19.2	26.6	26.5	8.9	11.8	2.1	18.8	26.9	4.1	3.7
東海市	3,185	19.4	19.7	25.7	26.5	9.6	13.3	2.1	17.5	26.3	5.1	3.8
大府市	2,476	22.2	19.3	28.2	26.9	7.6	10.6	2.3	18.5	27.0	4.0	3.8
知多市	2,799	20.5	18.5	25.9	27.6	9.1	11.7	1.8	19.3	27.0	3.0	3.6
東浦町	1,539	19.9	19.1	27.4	24.1	8.7	11.0	2.2	20.6	27.6	3.9	3.6

□ 利用したいと思う介護予防事業は、「健康づくりはしていないが、自分はまだ元気なので必要ない」(26.9%)、「時間が合えば」(26.6%)、「家から近ければ」(26.5%)、「内容が面白ければ」(20.5%)「効果があることがわかれば」(19.2%)の順で多くなっている。

□ 自治体間で大きな差はみられない。

健康づくりのための支出額の限度について



□ 健康づくりのための一か月の支出額の限度は、知多北部広域連合全体では、「1,000円～2,000円未満」が31.5%、「2,000円～5,000円未満」が29.3%、「1,000円未満」が18.4%、「5,000円以上」が8.3%の順となっている。

□ 自治体間で大きな差はみられず、2,000円未満が約5割を占めている。

情報の入手手段について

情報の入手手段

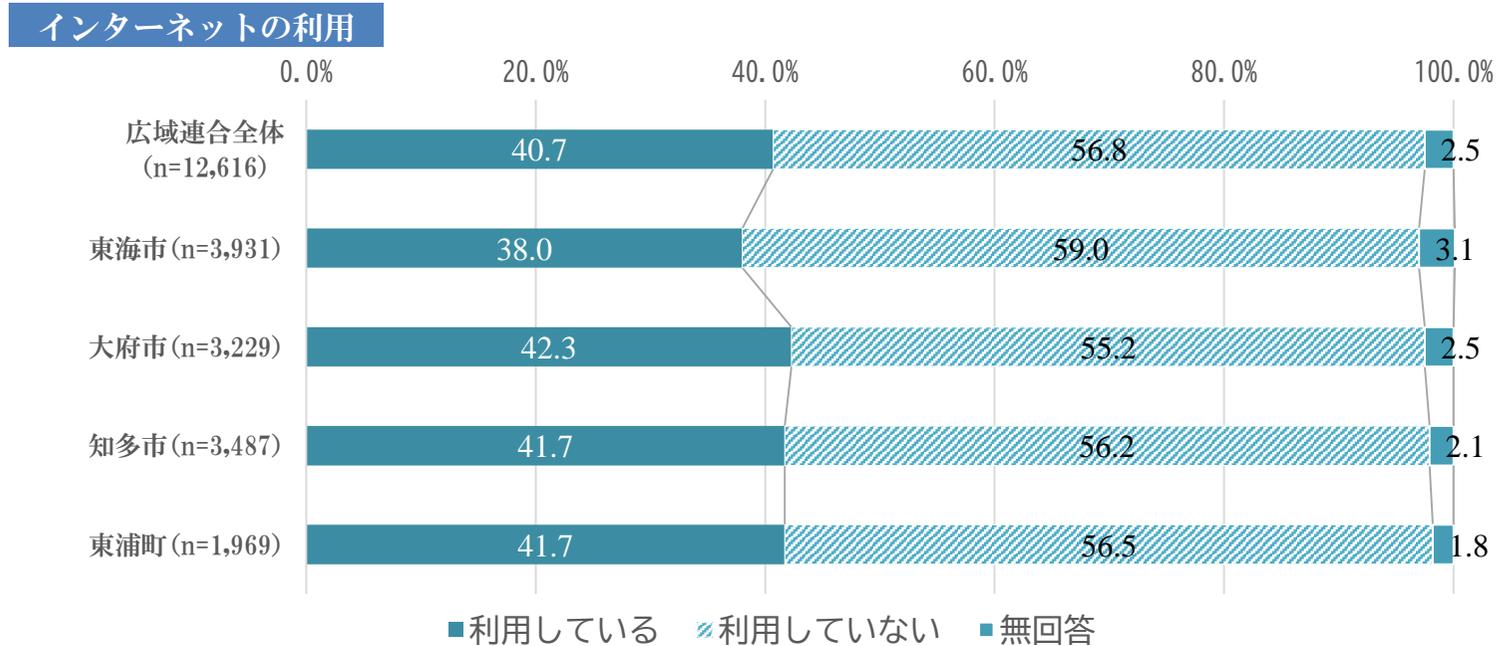
(件)	件数(人)	テレビ	新聞	ラジオ	本・雑誌	自治体広報紙
広域連合全体	12,616	88.5	78.4	26.2	27.3	42.3
東海市	3,931	89.0	76.1	25.0	26.6	40.8
大府市	3,229	88.0	79.5	26.1	28.0	45.3
知多市	3,487	88.7	80.1	27.4	27.2	40.0
東浦町	1,969	88.2	78.0	26.7	27.7	44.2
(件)	インターネット上のホームページなど	ライン等の利用者が交流できるインターネット上のサービス	家族	友人・知人	その他	
広域連合全体	27.8	11.6	52.9	52.5	1.7	
東海市	25.7	10.3	52.4	50.6	1.9	
大府市	29.0	11.9	53.9	53.0	1.3	
知多市	28.3	12.3	51.6	54.2	1.8	
東浦町	28.9	12.3	54.2	52.5	1.7	

□ 日常生活を送る上での情報の入手手段については、知多北部広域連合全体では、「テレビ」(88.5%)、「新聞」(78.4%)、「家族」(52.9%)、「友人・知人」(52.5%)の順で多くなっている。

一方、「インターネット上のニュースサイトやホームページなど」は約3割、「ライン等の利用者同士が交流できるインターネット上のホームページなど」は1割となっている。

□ 自治体間で大きな差はみられない。

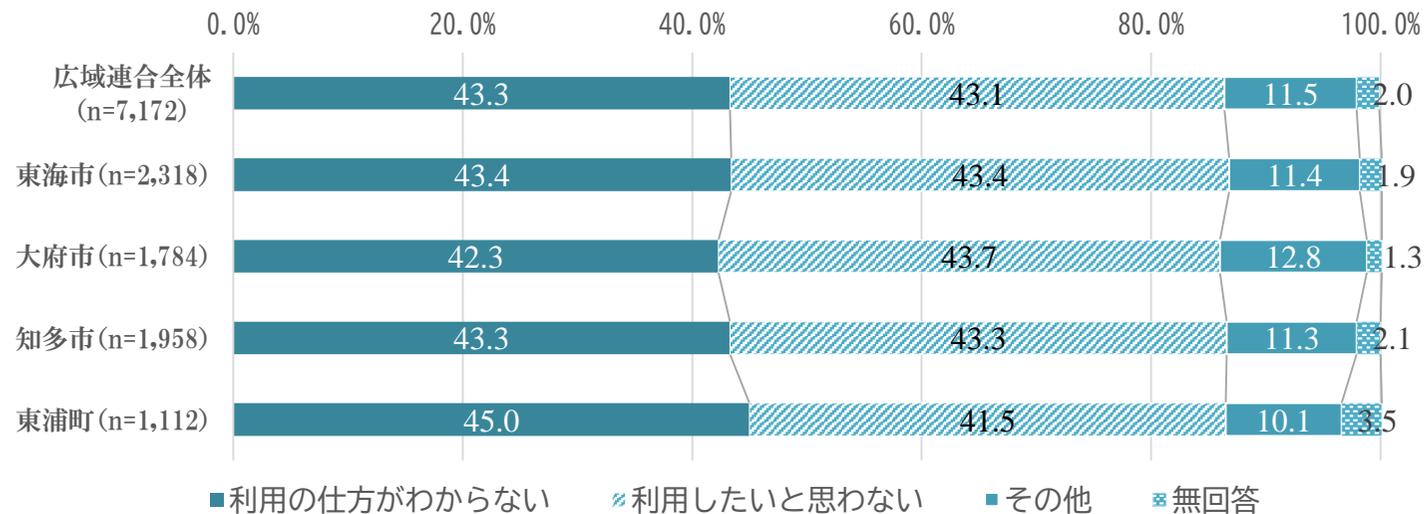
インターネットの利用について



- インターネットの利用については、知多北部広域連合全体では、「利用していない」が56.8%、「利用している」が40.7%の順となっている。
- 自治体間で大きな差はみられず、どの自治体も「利用していない」が「利用している」を上回っている。

インターネットの利用について

インターネットを利用しない理由



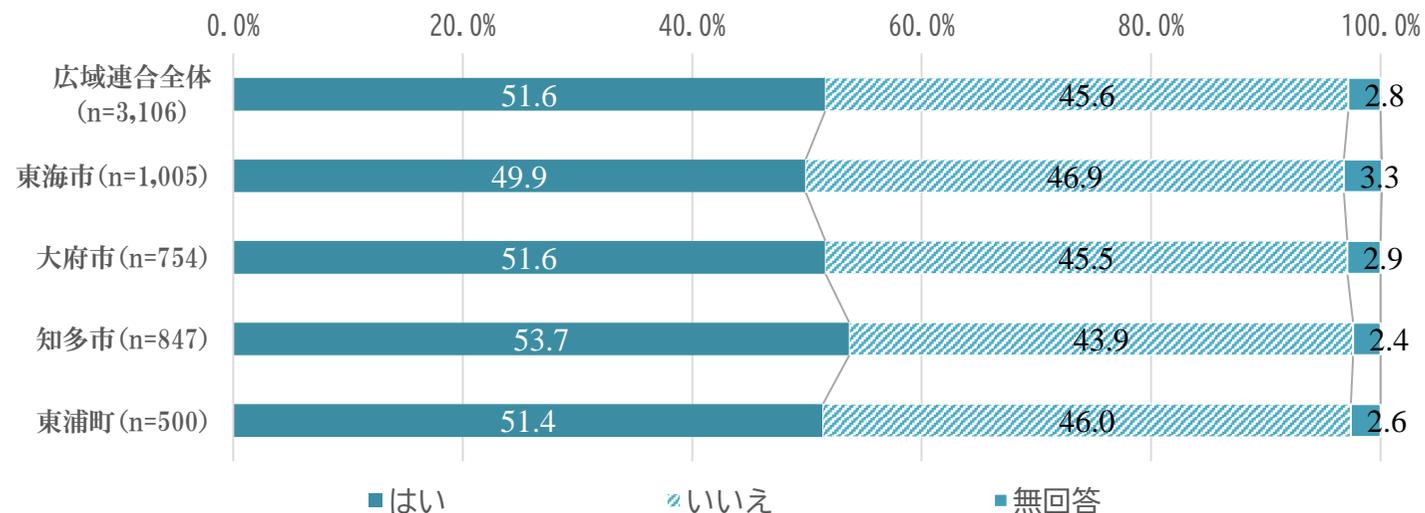
□ インターネットを利用しない理由は、知多北部広域連合全体では、「利用の仕方がわからない」が43.3%、「利用したいと思わない」が43.1%、「その他」が11.5%の順となっている。

□ 自治体間で大きな差はみられない。

□ 利用の仕方を学ぶ場への参加意向は、知多北部広域連合全体では、「はい」が51.6%、「いいえ」が45.6%の順となっている。

□ 自治体間で大きな差はみられない。

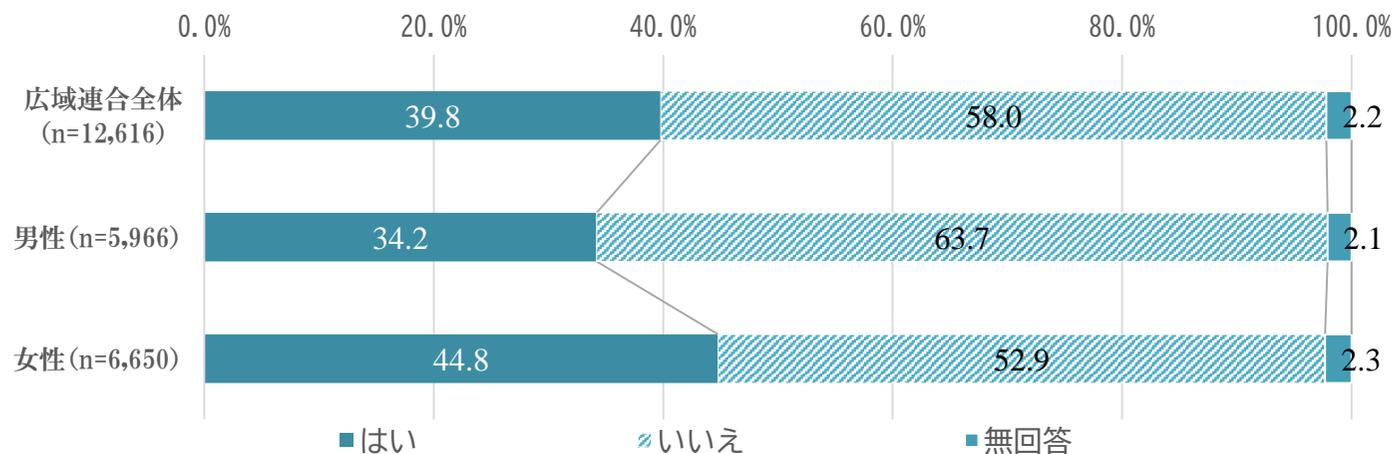
利用の仕方を学ぶ場への参加意向



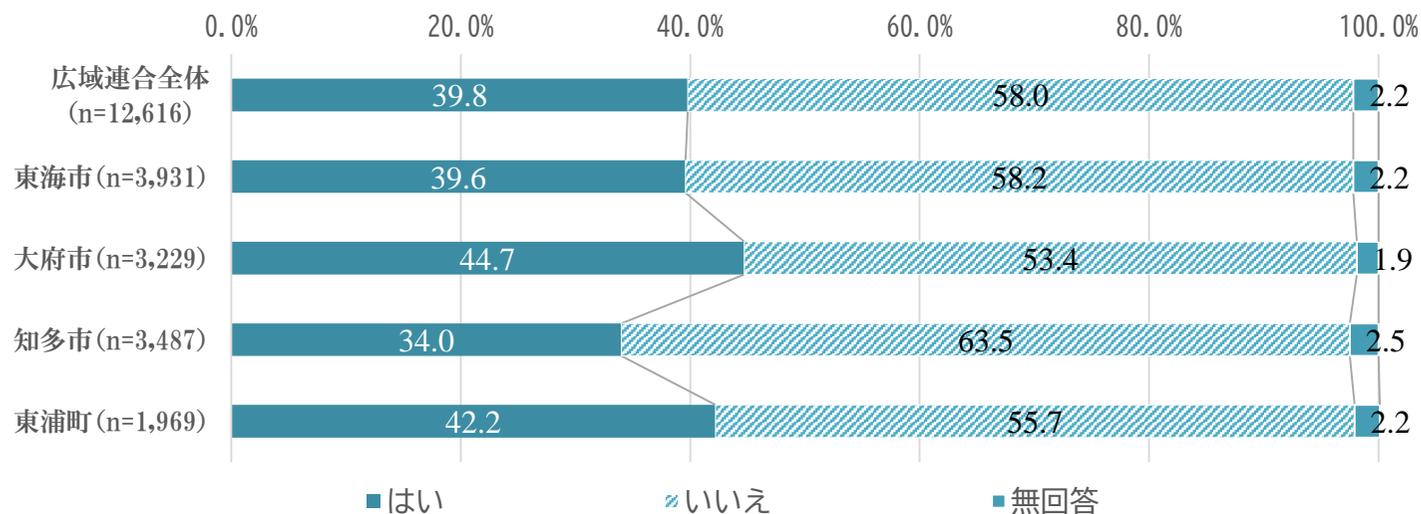
認知症に関する相談窓口の認知度

(比較:計画書P48)

認知症に関する相談窓口を知っているか 全体、男女別



自治体別

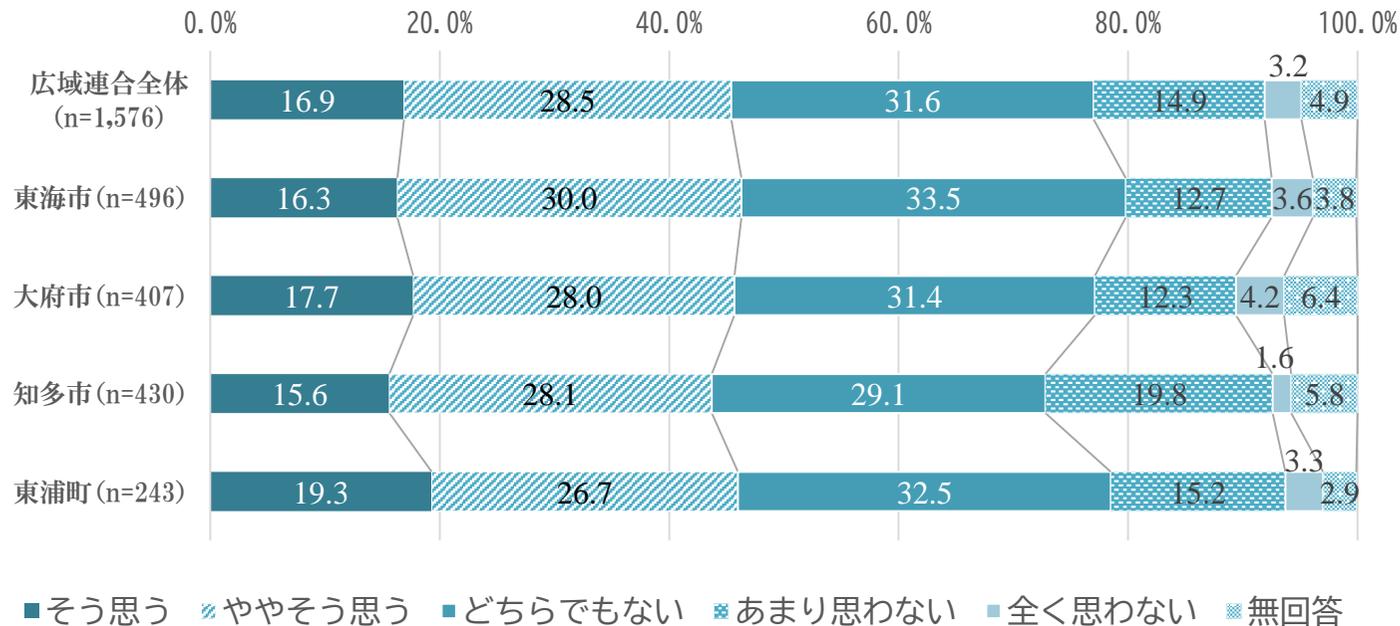


- 認知症に関する相談窓口の認知度は、知多北部広域連合全体では、「いいえ」が58.0%、「はい」が39.8%の順となっている。
- 計画書の数値との比較では、「はい」が2.0%低下しており、「いいえ」が0.9%増加している。
- 男性に比べ、女性の方が「はい」の割合が高くなっている。
- 自治体間の比較では、「はい」は大府市と東浦町で4割を超えている。一方、知多市では、「いいえ」が6割を超えている。

認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思うか

(比較:計画書P49)

認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思うか

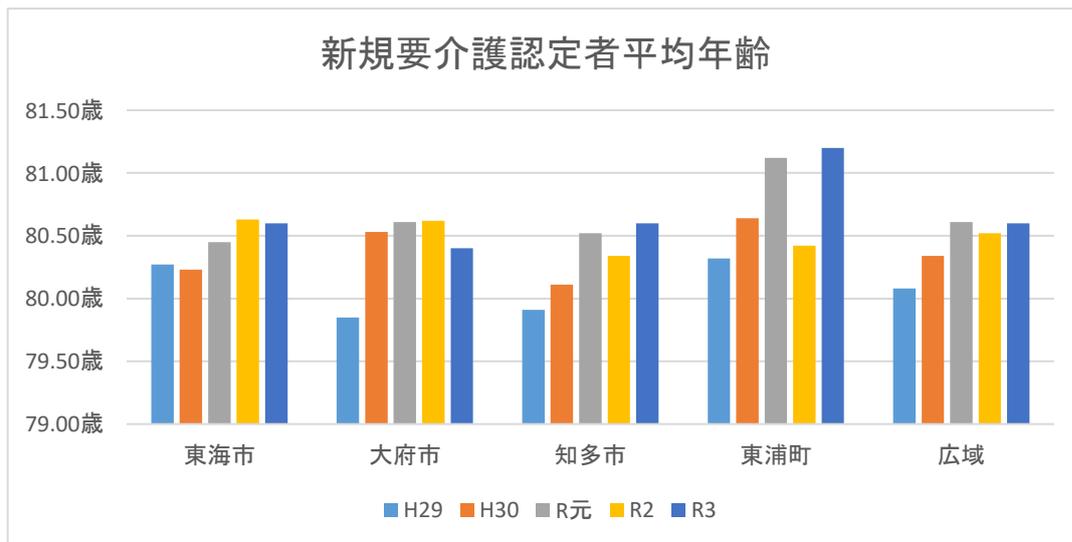


- 認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思うかについては、知多北部広域連合全体では、「どちらでもない」が31.6%、「ややそう思う」が28.5%、「そう思う」が16.9%、「あまり思わない」が14.9%、「全く思わない」が3.2%となっている。
- 計画書の数値との比較では、「そう思う」が2.2%、「ややそう思う」が0.7%減少している一方、「あまり思わない」が0.3%、「全く思わない」が0.8%減少している。「そう思う」、「ややそう思う」が減少しているものの、「あまり思わない」、「全く思わない」も減少している。
- 自治体間の比較では、「そう思う」、「ややそう思う」は、大きな差はみられないが、「あまり思わない」、「全く思わない」を足すと、知多市では2割と最も多くなっている。

新規要介護認定者の状況（1号被保険者）

平均年齢

	H29	H30	R元	R2	R3	H29-R3
東海市	80.27歳	80.23歳	80.45歳	80.63歳	80.60歳	0.33
大府市	79.85歳	80.53歳	80.61歳	80.62歳	80.40歳	0.55
知多市	79.91歳	80.11歳	80.52歳	80.34歳	80.60歳	0.69
東浦町	80.32歳	80.64歳	81.12歳	80.42歳	81.20歳	0.88
広域	80.08歳	80.34歳	80.61歳	80.52歳	80.60歳	0.52



平成29年から令和3年にかけての新規要介護認定者の平均年齢は、上昇している